

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3140964号
(U3140964)

(45) 発行日 平成20年4月17日(2008.4.17)

(24) 登録日 平成20年3月26日(2008.3.26)

(51) Int.Cl.

A 4 7 J 43/20 (2006.01)

F 1

A 4 7 J 43/20

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2008-529 (U2008-529)
(22) 出願日 平成20年2月4日(2008.2.4)(73) 実用新案権者 393001453
株式会社トルネ
和歌山県和歌山市中之島286番地
(74) 代理人 100076820
弁理士 伊丹 健次
(72) 考案者 谷山 太朗
和歌山県和歌山市中之島286番地 株式
会社トルネ内

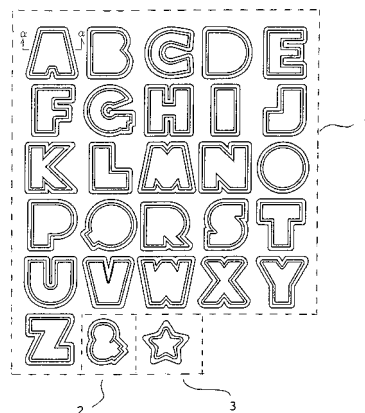
(54) 【考案の名称】 食材用文字抜き型

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】押し抜いた文字食材で装飾性のみならず、メッセージを伝えることのできる食材用文字抜き型を提供する。

【解決手段】シート状食材を押し抜くための抜き型1、2、3であって、前記抜き型の型がアルファベット、片仮名、平仮名等の文字からなる食材用文字抜き型である。下端に押し抜き部、上端に指圧部を有する筒状体からなり、上端の指圧部から下端の押し抜き部にかけて収束するテーパ状である。上端の指圧部の表面に肉厚部を設ける。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

シート状食材を押し抜くための抜き型であって、前記抜き型の型がアルファベット、片仮名、平仮名等の文字からなることを特徴とする食材用文字抜き型。

【請求項 2】

下端に押し抜き部、上端に押圧部を有する筒状体からなり、上端の押圧部から下端の押し抜き部にかけて収束するテーパ状であることを特徴とする請求項 1 記載の食材用文字抜き型。

【請求項 3】

上端の押圧部の表面に肉厚部を設けたことを特徴とする請求項 2 記載の食材用文字抜き型。

10

【請求項 4】

更に、押し抜いた文字食材を抜き型から押し出すためのピックを備えたことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の食材用文字抜き型。

【請求項 5】

樹脂製である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の食材用文字抜き型。

【請求項 6】

押し抜いた文字食材を組み合わせメッセージを形成し伝えるための請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の食材用文字抜き型。

20

【請求項 7】

メッセージを形成するように文字が押し抜かれたシート状食材でメッセージを伝えるための請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の食材用文字抜き型。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は食材用抜き型に関し、更に詳しくは、押し抜いた文字食材を装飾に用いるばかりでなく、押し抜いた文字食材を組み合わせメッセージを伝えることのできる食材用文字抜き型に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来から、装飾のために、ニンジンや大根等の食材を星形やハート型等の模様を押し抜くための抜き型が広く用いられている。

30

【0003】

また、下端開口縁を抜き刃部に形成されたパンや食材を型抜き可能な型抜き筒体を備えたパン型抜き器が提案され（例えば、特許文献 1 参照）、また、上下方向へ貫通する切り取り線によって予め所定の絵柄が描かれているカップ入りゲル状食品が提案されている（例えば、特許文献 2 参照）。

【特許文献 1】特開平 8 - 2 4 3 0 3 5 号公報

【特許文献 2】特開 2 0 0 3 - 4 7 4 2 0 号公報

【考案の開示】

40

【考案が解決しようとする課題】**【0004】**

しかしながら、このような絵柄の抜き型は、食事を楽しく、美味しく見せることはできるが、例えば、料理や食物を作った者の思いやメッセージ等を作成し伝えることはできない。

【0005】

本考案の課題は、上記実情に鑑み、押し抜いた文字食材を単に装飾に用いるだけでなく、これらの文字食材を組み合わせ、又は、所定のメッセージとなるように文字が押し抜かれたシート状食材で、メッセージを作成して伝えコミュニケーションができる食材用文字抜き型を提供することにある。

50

【課題を解決するための手段】**【0006】**

上記目的を達成するための本考案の請求項1は、シート状食材を押し抜くための抜き型であって、前記抜き型の型がアルファベット、片仮名、平仮名等の文字からなることを特徴とする食材用文字抜き型を内容とする。

【0007】

本考案の請求項2は、下端に押し抜き部、上端に押圧部を有する筒状体からなり、上端の押圧部から下端の押し抜き部にかけて収束するテーパ状であることを特徴とする請求項1記載の食材用文字抜き型を内容とする。

【0008】

本考案の請求項3は、上端の押圧部の表面に肉厚部を設けたことを特徴とする請求項2記載の食材用文字抜き型を内容とする。

【0009】

本考案の請求項4は、更に、押し抜いた文字食材を抜き型から押し出すためのピックを備えたことを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の食材用文字抜き型を内容とする。

【0010】

本考案の請求項5は、樹脂製である請求項1～4のいずれか1項に記載の食材用文字抜き型を内容とする。

【0011】

本考案の請求項6は、押し抜いた文字食材を組み合わせメッセージを形成し伝えるための請求項1～5のいずれか1項に記載の食材用文字抜き型を内容とする。

【0012】

本考案の請求項7は、メッセージを形成するように文字が押し抜かれたシート状食材でメッセージを伝えるための請求項1～5のいずれか1項に記載の食材用文字抜き型を内容とする。

【考案の効果】**【0013】**

本考案の食材用文字抜き型は、押し抜いた文字食材又は文字が押し抜かれた食材を装飾として利用し食物を美味しく見せるだけでなく、押し抜いた文字食材を組み合わせメッセージを形成して伝えたり、又は、予め所定のメッセージとなるように文字が押し抜かれた食材でメッセージを伝えることができ、装飾性のみならず食物を作った者の思いやメッセージを伝えるコミュニケーションの役割を果たすので、絵柄や模様だけの場合に比べ興趣性を飛躍的に高めることができる。

【0014】

本考案の抜き型は、下端に押し抜き部、上端に押圧部を有する筒状体からなり、上端の押圧部から下端の押し抜き部にかけて収束するテーパ状とすることにより、押し抜いた文字食材を抜き型の押し抜き部に保持することができ、その結果、押し抜いた文字食材を食材（押し抜かれた）から容易に切り離すことができる。

【0015】

上端の押圧部の表面に肉厚部を設けることにより、この肉厚部が補強の役割を果たすので抜き型を薄くでき、押し抜き部による食材の押し抜き性が良好となるばかりでなく、抜き型の押圧部を指で押圧する際に指が痛くないので押圧し易く、また、食材を押し抜いた後に抜き型を持ち上げたり移動させる際にも指が引っ掛かるので押し抜き作業性が高められる。

【0016】

更に、押し抜いた文字食材を抜き型から押し出すためのピックを備えることにより、抜き型の押し抜き部に保持された文字食材を容易に押し出すことができる。

【0017】

素材を樹脂製とすることにより、容易に成形できるとともに、着色が容易で、軽量且つ

10

20

30

40

50

安価な食材用文字抜き型が提供される。

【0018】

押し抜いた文字食材を組み合わせでメッセージを形成して伝えたり、また、予めメッセージを形成するように文字が押し抜かれたシート状食材でメッセージを伝えることができ、従って、単に装飾性のみならず、食物を作った者の思いやメッセージを伝えるコミュニケーションの役割も果たすので、興趣性が一層高められる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0019】

本考案の食材用文字抜き型は、シート状食材を押し抜くための抜き型であって、前記抜き型の型がアルファベット、片仮名、平仮名等の文字からなることを特徴とする。

10

【0020】

本考案の食材用文字抜き型は、抜き型の型がアルファベット、片仮名、平仮名等の文字からなるものであれば特に制限されないが、特に、型の抽象化が容易であるため製造がし易く、また、特に若者に好まれる点でアルファベットが好ましい。

以下、抜き型の型がアルファベットからなる食材用抜き型を例に挙げて詳細に説明する。

【0021】

本考案の食材用文字抜き型1は、図1に示すように、アルファベット26文字から基本的に構成されている。アルファベットは必ずしも26文字全てが必要ではなく、所望のメッセージにより該メッセージを形成するのに必要な数の抜き型を適宜準備すればよい。例えば、メッセージが“LOVE”であれば、「L」「O」「V」「E」の4個の抜き型を準備すればよい。

20

【0022】

また、アルファベットの抜き型他に、必要に応じ、記号や符号、絵柄や模様等の抜き型を併用することもできる。例えば、「&」の抜き型2や、エクスクラメーションマーク「!」、クエスチョンマーク「?」等を加えることもでき、これらを併用することにより、メッセージを更に豊かにし、深みを増し、生き活きとしたメッセージにすることができる。更に、星からなる抜き型3や、ハート等を加えることにより、更にメッセージに装飾性を付加し、彩りを添え、印象深くすることができる。

【0023】

これらの抜き型の型は、適当に抽象化することもできる。抽象化することにより、抜き型の作製が容易となるばかりでなく、却って深みが増し興趣性が高くなる場合がある。

30

【0024】

抜き型1は、下端に押し抜き部1a、上端に押圧部1bを有する筒状体からなるが、図2に抜き型を代表して抜き型「A」の縦断面図を示したように、上端の押圧部1bから下端の押し抜き部1aにかけて収束するテーパ状の筒状体とするのが好ましい。このような形状とすることにより、下端の押し抜き部1a内に押し抜いた文字食材を保持することができ、その結果、押し抜いた文字食材4aをシート状食材（押し抜かれた）4から容易に切り離したり移動させることができる。

【0025】

抜き型1は、約0.5～1mmの厚さとするれば、下端をそのまま押し抜き部1aとして利用できる。一方、指を当てて押圧するための上端の押圧部は、この厚みでは食材によっては指が痛くなることがあるので、上端の押圧部は肉厚部（例えば、1.5～2mm程度）とすることが好ましい。

40

抜き型1の長さは、食材の厚さにより適宜決定すればよいが、取り扱い性や作業性の点からは、通常、15～40mm程度が好ましい。抜き型1の押し抜き部のサイズも所望のサイズに適宜決定すればよいが、作業性や装飾性、メッセージの伝達性等からは、通常、10～30mm程度の矩形、直径が10～30mm程度の円形の内部に収まるようにするのが好ましい。

【0026】

50

本考案の抜き型 1 により押し抜いた文字食材は、通常、先端の押し抜き部 1 a 付近の内部に保持される。従って、押し抜いた文字食材を抜き型 1 から押し出すためのピックをセットとして備えていることが好ましい。

このようなピックは、棒状体のものであればよいが、例えば、図 3 に示すように、一端は細く、他端を太く形成すると、小さな隙間には細い方を使用できるので好ましい。また、押し出された文字食材を把持し弁当のご飯の上やケーキの上等に運ぶための U 字状のハサミ等の把持具もセットとして備えていると便利である。更にまた、“ H E L L O : こんにちは ”、“ L O V E : 愛してる ”、“ G O O D L U C K : 幸運を祈る、頑張ってる ”、“ H A P P Y B I R T H D A Y : 誕生日おめでとう ”、“ C O N G R A T U L A T I O N : おめでとう ”等の日常よく使う言葉を英語と日本語とで併記したりリストを添付しておく、抜き型の使い勝手がよくなるとともに、英語の学習の一助ともなり、思わぬ効果も期待できる。

10

【 0 0 2 7 】

本考案の抜き型は、樹脂製、金属製等のいずれでもよいが、成形性が良く、軽量且つ安価な点で樹脂製が好ましい。このような樹脂としては、ポリエチレン、ポリプロピレン等のポリオレフィン樹脂、ポリスチロール樹脂、塩化ビニル樹脂、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリカーボネート樹脂等が挙げられる。

また、ピックは上記素材の他、木、竹等の素材を用いることができる。把持具の素材は金属が好ましい。

【 0 0 2 8 】

20

本考案の抜き型により押し抜かれる食材としては特に制限はないが、シート状のものが好適である。シート状の食材としては、野菜、ハム、チーズ等が挙げられるが、シート状でない食材、例えば、バナナ、リンゴ、ナシ、キュウリ、リンジン等はシート状に薄く切って型抜きに供される。シート状の厚さは食材の硬さにもよるが、好ましくは概ね 5 mm 以下程度、より好ましくは 3 mm 以下程度である。また、固くて型抜きが困難な食材は、例えば、加温又は加熱する、ゆでる等により柔らかくして型抜きに供される。

【 0 0 2 9 】

本考案の抜き型により押し抜かれた文字食材は、組み合わせて（並べて）所定のメッセージが形成される。また、押し抜かれたシート状食材もメッセージを含んでおり、メッセージを伝えるために使用可能である。

30

これらは、いずれも弁当の表面やサンドイッチ、ケーキ等のトッピングとして好適であり、野菜サラダ等にも用いられる。

【 実施例 】

【 0 0 3 0 】

以下、本考案を実施例に基づいて更に詳細に説明するが、本考案はこれらにより何ら制限されないことは云うまでもない。

【 0 0 3 1 】

実施例 1

ポリプロピレン樹脂を用い、図 1 に示すように、アルファベット「 A ~ Z 」の 26 文字、「 & 」及び「 星 」の抜き型を作製した。サイズは、押し抜き部が 1 辺が約 15 mm の矩形、押圧部が約 18 mm の矩形、長さが約 25 mm、厚みが約 1 mm、押圧部の肉厚部が約 1.5 mm とした。

40

次に、「 L 」 「 O 」 「 V 」 「 E 」 の 4 個の抜き型を使用して、シート状食材であるハート型のハムの上に抜き型を押し抜き部を下に向けて置き、抜き型の両側面に親指と中指を、押圧部に人指し指を掛けて力を加えて押し抜き、抜き型をハムから引き離し、その押し抜き部内に保持された文字食材を、図 3 に示すピック（長さ：約 65 mm、一端の球状部の直径：4 mm、他端の直径：約 1.5 mm）で押し出して、押し抜いた文字食材「 L 」 「 O 」 「 V 」 「 E 」を得た。図 4 に示すように、押し抜いた文字食材 4 a を、弁当のご飯の表面に並べて「 L O V E 」のメッセージを形成した。

【 0 0 3 2 】

50

実施例 2

弁当のご飯の表面に桜デンプをふりかけ、その上に上記実施例 1 で押し抜かれたシート状食材（ハート型のハム）4 を配置した。

図 5 に示すように、押し抜かれた「LOVE」の間から桜デンプのピンク色が見え、ハムからなる「LOVE」の輪郭内を桜デンプのピンク色で着色したような綺麗なメッセージが形成された。

【0033】

実施例 3

「H」「A」「P」「P」「Y」「B」「I」「R」「T」「H」「D」「A」「Y」のアルファベット 13 文字からなる抜き型と、「星」の抜き型とを使用し、少し加温した板チョコを押し抜いた。

図 6 に示すように、これらの押し抜いた文字食材（板チョコ）4 a をケーキのトッピングとして、クリームの上に配し、上部には「HAPPY」、下部には「BIRTHDAY」のメッセージを形成し、両メッセージの間に「星」を配した。

【産業上の利用可能性】

【0034】

叙上のとおり、本考案の抜き型は文字からなるので、単に装飾性だけではなく、押し抜いた文字食材でメッセージを形成することができるので、食物を作った者の思いやメッセージを伝えるためのコミュニケーションの役割を果たすことができ、また、メッセージを形成するように打ち抜かれた食材も同様にコミュニケーションの役割を果たすことができ、図柄や模様だけの場合に比べ飛躍的に興趣性を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【0035】

【図 1】本考案の抜き型の一例を示す上面図である。

【図 2】抜き型「A」の α - α 断面図である。

【図 3】ピックの一例を示す概略図である。

【図 4】抜き型で押し抜いた文字食材を弁当のご飯の上に並べて「LOVE」のメッセージを形成した例を示す概略図である。

【図 5】抜き型で押し抜かれたシート状食材を弁当のご飯の上に配して「LOVE」のメッセージを形成した例を示す概略図である。

【図 6】抜き型で押し抜いた文字食材を並べて「HAPPY BIRTHDAY」のメッセージを形成し、ケーキのトッピングとした例を示す概略図である。

【符号の説明】

【0036】

1 文字抜き型

1 a 押し抜き部

1 b 押圧部

2、3 文字以外の抜き型

4 シート状食材

4 a 押し抜いた文字食材

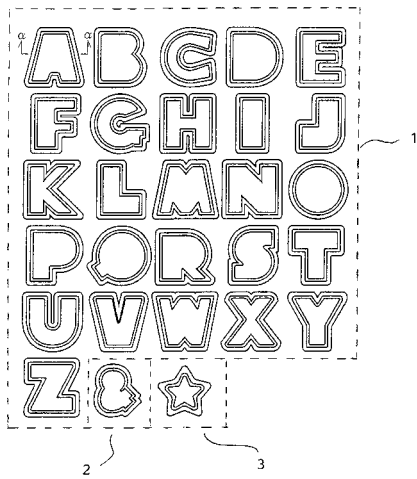
10

20

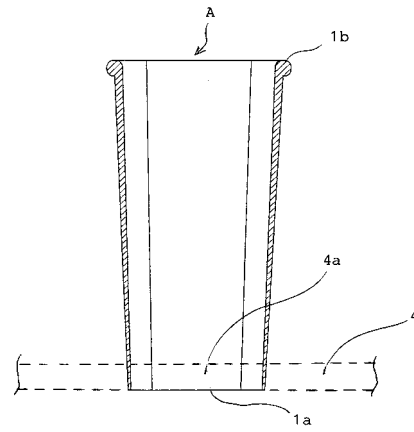
30

40

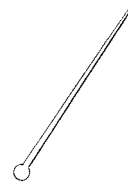
【 図 1 】



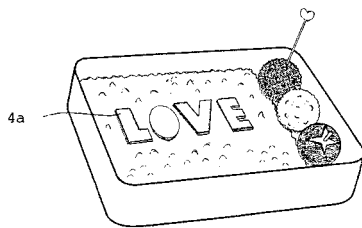
【 図 2 】



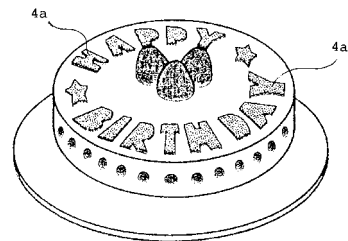
【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 6 】



【 図 5 】

